

広報 いまり

発行 昭和57年3月1日 伊予市役所総務部秘書課 (☎0211-7848)

No.337

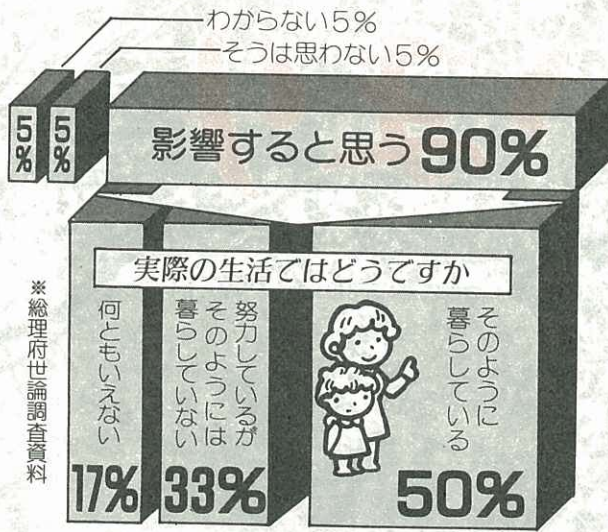
春がきた 春がきた
どこにきた……
各地から花の便りが届き
まちかねた子どもたちは
野や山でのびのびと遊びます

(大坪町渚の梅林で遊ぶ子どもたち 2/22)

'57

3月

〈人口〉 男29,266人 女32,415人 計61,681人 (前月比-6人) 〈世帯〉 16,977世帯 (2月1日現在)



▽親の影響
大人の生活態度が、子供の人格形成に影響を与えていると思えます

あなた

家庭教育は…

家庭では学校のように細かい計画をたてることはほとんどできませんが、日常生活そのものが子供の教育の中心になります。

敬愛の結びつき

家庭教育でいちばん大切なことは親子の間の「敬愛の関係である」といわれています。この関係が確立できれば家庭教育の正しい基礎ができあがったものといえます。

家庭はしつけの場

生活習慣、行動の教育は、小さい子供の時から始めた方がより効果があります。このようなしつけは家庭で力を入れるべきでこの基礎をしっかりとすることが大切です。

その場その場の指導を

家庭では子供の行動をよく観察することが出来ますので、時機を失せず必要な指導をしていくことが大事です。

子供の長所を伸ばし、短所を矯正していくという工夫や努力が必要です。

最近、家庭内暴力や青少年の非行化が社会問題になっています。家庭教育が子供の成長にとって重要なことはいまでもありませんが、わたしたち親は、子供に対して正しい教育をはたして行っているでしょうか。

家庭教育の役割とあり方を一度考えてみたいものです。

家庭は人間形成の場

子供にとっては、親の愛情につつまれ、人間としての生き方の基本を身につけながら、成長していくという、それが家庭です。子供の人格は、家庭環境、親の養育態度に大きな影響を受けながら形成されています。

子供が健全に育つのも、子供を非行に走らせるのも大きな要因は家庭にあると言われていま

す。家庭教育というと、とかく堅苦しいお題目や方針を並べたくなりますが、「これがわが家の教育方針だ」といった意図的なしつけよりも、子供はふだんの親と子の何気ない接触、日常生活の何でもない一コマ一コマから親の強い影響を受けることが多いのです。

いたが、今度の事故では二番から十一番までの席が死亡されているというのを聞いて、なんのために努力していたのか唖然となった。しかし飛行機事故ともなれば席のよしあしはむしろ偶然でどこにいても死を覚悟しなければならぬ。日航の社長であったが、無事故の記録を述べておられたが、一旦事故が起ればそれは無意味に等しく、一機一機に、そして時々刻々に神経を集中してもらわなければならない。なんの役にも立たない。いま人類は目滅に向って走っているといわれるが、交通機関による事故は人類が自分でつくったもので自分の命を縮めているなかの最たるものである。人類にはもはや外から敵対するものはないようであるが、そのかわりに内から自分で墓穴を掘りつゝある。したがっていま人類にとって一番大事なものはずから自分を制する自制心ではないかと思う。人類が真にその自制心を發揮して自滅への道をチェンジすることができれば、人類の時代は永遠に安泰となることができる。(竹)

の子育ては...



子どもは親のかがみです
親の態度がこんな結果を

▲親が注意しても子供は上の空

家庭で親がこうすれば

- △過保護
- △甘やかす
- △親がすぐ手助けをする

- △口うるさい
- △くどくど叱る
- △感情的に叱る

- △よその子供や兄弟と比べて批判する
- △競争意識をおおる
- △テストの点や通知表の成績にこだわる

- △厳しすぎる
- △愛情が足りないつめたい
- △忙しくて子供と接する時間が少ない

- △兄弟の仲が悪い
- △えこひいきをする
- △夫婦げんかが多い

学校で子供がこんなになる

- ×身のまわりの始末ができない
- ×依頼心が強い
- ×難しいことは、すぐ投げ出す

- ×いわれないと何もできない
- ×忘れ物が多い
- ×ぼんやりしている
- ×反抗的
- ×無口でやる気がない
- ×想像力や表現力に乏しい

- ×ごまかしやうそをいう
- ×神経質でいつもピリピリしている
- ×つまらないミスをする
- ×型通りのことをしておもしろみがない

- ×先生に甘える
- ×いたずらが多い
- ×落ち着きがない
- ×自分勝手なことをする
- ×きまりを守らない
- ×人の物をかくしたり、盗んだりする

- ×いつもおどおどしている
- ×無口で暗い
- ×おしゃべりで要領がよい
- ×落ち着きがない

では、どうしたらよいか

- 時間がかかっても最後まで自分でやらせ、自信をつけさせる

- 悪い時は、きびしく叱り、ながながと小言をいわない

- 必要なことだけいって、あとは子供にまかせ、子供を信用する。

- 点数や成績にこだわりすぎない
- どこを間違えたかを教え、がんばるように励ます
- 長所を見つけて、ほめたり励ましたりする

- 帰宅をしたとき、必ず声をかける
- よく話を聞いてあげる
- ときどき子供と心から楽しく遊ぶ

- 夫婦間の問題を早く解決する
- 家族みんなが仲よくし、明るい家庭にする

特にその中で日航機の墜落はパイロットの操縦ミスにあるようで、しかも技術過信の心理状態などが問題とされ、それが事実とすれば被害者にとってなんともやりきれない惨事である。私もよく飛行機を利用するが乗降口の近くが便利というので、これまで早目に出かけて前方の席をとって

「せいり」に今年壬戌(ミズノエ・イヌ)の年ではないが、その吉兆の例をとって、その吉兆の例をとってあげたが、いかにきざしがよくても人間がそれを生かすことをせず、逆に慢心を起したり油断したりすると瞬時にして凶に変ずることもあるのが恐ろしい。そのいい例がホテル・ニュージャパンの火災であり、日航機の墜落であり、その後もういろいろの事故が続いている。



中倉市議会議員ご逝去

市議会議員の中倉太郎次氏は今年1月から病氣療養中でしたが、去る2月2日脳血栓のため亡くなりました。

中倉氏(63歳)は、昭和42年5月、市議会議員に当選以来、豊富な識見と卓越した手腕をもって地方自治の振興に努められ東山代干拓や長浜工業団地の開発、工業用水道ダムの建設、脇野川の改修などに尽力されました。

また長年、PTA会長として地域の教育の振興に尽くされる

ばかりでなく、議会でも総務委員長として、今後、ますますの活躍が期待されていました。

謹んでお悔み申し上げます。



故 中倉太郎次氏



▲消防署の職員から人工呼吸の指導も

地区別飲酒運転検挙者数

(S57.1.31 現在伊万里警察署調べ)

地区名	昭和56年中	1月	累計
伊万里	5	0	0
大坪	10	1	1
牧島	16	0	0
立花	20	2	2
大川内	11	2	2
黒川	14	0	0
波多津	7	1	1
南波多	5	0	0
大川	7	0	0
松浦	11	1	1
二里	8	0	0
東山代	9	0	0
山代	27	2	2
市外	55	1	1
計	205	10	10



1月

貿易実績は14億6,605万円で前年比1億8,289万円の増。

【輸出】 1億1,820万円

【輸入】 13億4,785万円

【船舶の入港】 17隻

(日本船1隻、外国船16隻)

【寄港地上陸許可者数】

384人(フィリピン245人、中国75人、インドネシア37人、英国11人、ビルマ15人、インド1人)

心と体の市民健康展開く

第2回市民健康展が2月13日、14日に市民会館と中央公民館で開かれました。

会場では、体力づくり、老人健康相談、食生活相談や農産物の展示コーナーが設けられ、肥満度測定コーナーや試食コーナ

ーに人気が集まりました。

14日には、元マラソン選手の君原健二さんがチビっ子たちに囲まれて体力づくりの実技指導午後からは「生涯を通じた心と体の健康づくり」と題して記念講演も行われました。

生きがいと創造の家 作品展示会

昭和55年度から市民会館裏の「生きがいと創造の家」では、お年寄りの生きがいを高め健康で豊かな生活をおくるため、陶芸・手芸・園芸の作品がつけられています。

始められてから2年になりますが、その成果を一堂に展示します。

▲日時 3月18・19日8時30分～5時

▲場所 市役所市民ロビー

▲作品 陶芸・手芸・園芸 200点

シベリヤ抑留者の方へ

このたび、多くの方々のご協力により、抑留者の実態調査見当費が政府予算としてあげられ伊万里支部としても中央本部の指示により調査準備を進めています。

未加入の方は、調査対象外とならないとも限りませんので、直ちに入会されることをおすすめします。

▲申込及び問合せ先

伊万里市東山代町大久保4112

田中直二 ☎⑧-2777

公共下水道計画が変更

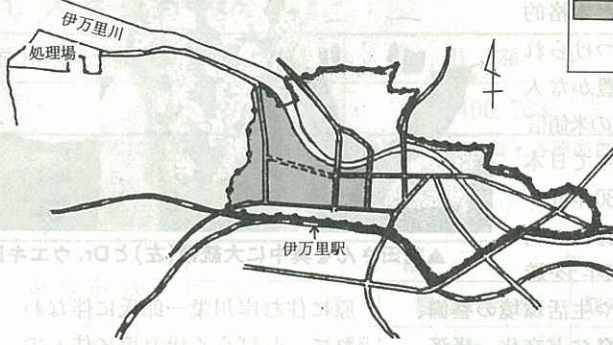
3月の市民会館行事予定

53年12月公共下水道事業計画を定め54年1月から第1期計画（60年完成目標）の工事に着手し、終末処理場の用地造成及び下水管理設工事をすすめておりますが、国の第5次下水道整備

5か年計画が決定され、市の事業費が約半分に抑えられたため次のように完成目標が変わります。市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

- 毎週金曜日 9:30・12:30受付
運転免許更新時講習会
- 7日（日） 10:00開演
伊万里市婦人大会
- 14日（日） 13:00開演
フォーク・コンサート
- 21日（日） 16:30開演
明大マンドリンクラブ演奏会
- 22・27・28日 大会議室
ピアノ発表会

伊万里市公共下水道計画区域図



(凡例)

	第一期計画
	第一期計画のうち61年供用開始を目標に整備する区域

変更前後 区分	第 1 期 計 画		左のうち61年供用開始を目標に整備推進する
	当 初	変 更 後	
事業計画区域	伊万里町の全部及び大坪地区、二里町の各一部 128 ha	左に同じ	伊万里町（川北を除く）及び二里町の一部 29 ha
計画処理人口	7,700人	左に同じ	2,000人
完成目標年次	60年	65年	61年
事業費	約 66 億円	約 66 億円	約 30 億円

（国民年金の保険料） 4月から 5,220円

国民年金の保険料は、4月から1か月分が5,220円に変わります。これは老齢年金の受給者がふえ続けていくのと、年金額が物価上昇などに合わせて毎年増額されていくので、国の負担額もふえており、被保険者の保険料を改正するものです。

保険料を納め忘れていたりしますと、障害年金や母子年金がまた将来老齢年金をうけられなくなったりしますので、保険料は必ず期限までに納めましょう。

また、生活が苦しく保険料を納められない人は、免除する制度もあります。詳しくは、市民課年金係にお尋ねください。

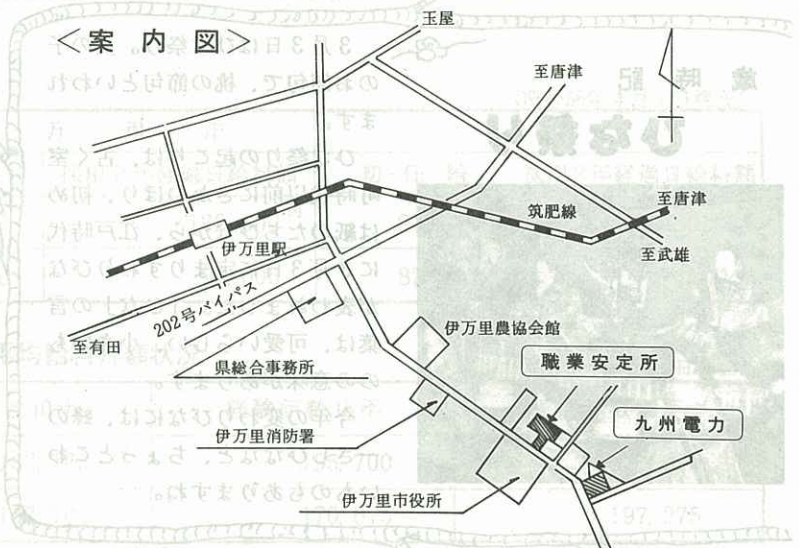
☎③ 2111 内線 220・215

職業安定所と九州電力が移転します

※伊万里公共職業安定所は3月8日（月曜日）から市役所東側の新庁舎で仕事を始めます。
新所在地 伊万里市立花町通谷 1542 - 25

※柳井町にありました九州電力（株）伊万里営業所は3月下旬に立花台地へ移転します。
新所在地 伊万里市立花台2丁目1番

<案内図>





ほほえみ

新生国パラオを訪ねて

船屋町 前田利昭さん(49歳)

現地語で「アバイ」と呼ぶヤシでふいたパラオの民族建築の屋根、周囲は風が出はり自由木柱で支えられたアイライ空港ターミナルビル……。

出迎えのドクター・ウエキと再会の握手を交したのが1月13日、快晴の昼でした。

サイパン、グァム経由ヤップそしてパラオと乗り継いで空路4,500 km、眼下には名も知れないサンゴ礁の環が白い波の中に眠り、空には積乱雲が雄大に巻きあがっていました。

パラオとのかかわり

パラオは中部太平洋ミクロネシアに広がる大小300の島々で、昨年1月、非核憲法を掲げて独

立を宣言、今だ本格的な開発の手がつけられていない人情豊かな人口約15,000人の米領信託地です。かつて日本は敗戦までの30年間、この島々を領有し、約55,000人(S11年)を送

り、義務教育や生活環境の整備、農水産業の開発など文化、経済の発展をもたらしました。

昨年4月、パラオから国づくりへの協力を訴えてDr.ウエキが伊万里にみえました。日本人を父に、現副大統領の姉を母にもつ2世の医師です。

氏は、敗戦で親兄弟と離される強制退去を受け、現在、金石



▲前田さんを真中に大統領(左)とDr.ウエキ氏(右)

原に住む岸川栄一郎氏に伴なわれて、しばらく伊万里に住んでいました。当時、そんな辛酸を知りえない年頃の私達は、一緒に旧制伊万里中学に通学しました。

さて、氏の努力は、翌14日、アジア太平洋の発展途上国に民間レベルで協力している(財)

オイスカ産業開発協力国によって現地農業青年の訓練センターの開所式となって、また一つ実現しました。当日は、竹内市長さんからのメッセージと市内の生徒の作品を、Dr.ウエキを始め要人出席の中、ハルオ・リメリック大統領自ら親しく受けて頂きました。

あれからひと月、Dr.ウエキは新生パラオの国づくりに、今日も奔走に明け暮れている事でしょう。

Dr.ウエキを通じてパラオとの関係を知っていただき、パラオの自主独立が一日も早くかなうようこれからも関心をもっていただければ幸いです。

歳時記

ひな祭り



3月3日はひな祭り。女の子のお節句で、桃の節句といわれます。

ひな祭りの起こりは、古く室町時代以前にさかのぼり、初めは紙のたちびなから、江戸時代に3月3日に定まりすわりびなが表われました。「ひな」の言葉は、可愛いらしい、小さいものの意味があります。

今年の変わりびなには、蜂の一さしびななど、ちょっとこわいものもありますね。



もうすぐ春 大地にほほえみがもどります

ひろば

No.4

この頁は市民の皆さんが作るページです。
皆さんのご意見や作品をおまちしています。

秘書課 広報係 2111 内線408まで

いまり歴史散歩 その3

黒田候・唐津藩主も通った

駒鳴峠

市郷土研究会 下平恒男

伊万里市大川町と、東松浦郡北波多村が境を接しているところ、駒鳴峠があります。ここは昔は、唐津・長崎間の最短コースとして、交通の要衝でありました。

切り通しになっている峠を南に少し下ると、深い繁みの中に馬の形をした大きな岩があります。昔、この岩が夜な夜なすごい鳴き声を出すので、旅人たちは怖れて、通る人が少なくなりました。そこで当時の日在城の城主大河野四郎遊あそぶが石工に命じて、その岩の胸のところを彫ら

せましたところ、その後この岩は鳴かなくなったということです。この岩を駒石うまこいしといっています。

また、別の説では、昔、鎮西八郎ちんせいはちろうが、黒髪山の太蛇を退治した時、その太蛇のうろこを馬の背につんで、この峠を上りましたが、坂が急であるためと龍鱗が重たかった為に、馬が大変苦しんで涙を流して鳴いたといわれています。これらのことから駒鳴の名がついたと伝えられています。

この峠は、今は荒れはてして、人も通れませんが、古くは、岸岳城と日在城を結ぶ要路であり、後には、黒田候や、唐津の藩主の長崎往復の道でありました。また、博多・唐津・長崎を旅する人の往還でもありました。

享保15年しこう・支考ろげんの弟子の蘆元坊ほうが、この峠を通して大川野の宿しゆくに来て泊り、地元の俳人と大いに蕉風しょうふうについて話し合っています。

文化9年には、伊能忠敬が徳須恵・稗田方面から測量しながらこの峠を通り、石坂に出は「江州(滋賀県)の鈴鹿山に似たり」

今日はほほえみさん



大坪町下古賀
池田奈穂子さん

(S34年生)

佐賀銀行の窓口勤めて5年目、また地元では青年団の副団長さんとなかなか行動的です。

旅行が大好き…でも時間とお金がなく、妹さんと沖縄旅行を計画中とか。本当は誰かさんがいれば……。理想の男性は、スポーツマンでやさしい人。

明るさと親切をモットーとする素敵なお嬢さんでした。

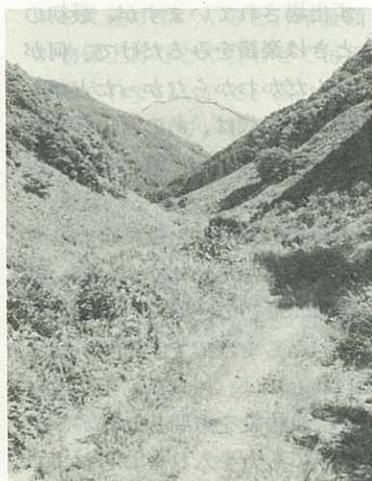


と測量日記に書いています。

長崎の住人廣清某もその旅日記(肥後・筑前・唐津道中日記)にも駒鳴峠のことが書かれています。

駒石のある峠から現在の本道まで約1kmの坂道には、強盗岩一里塚跡・道標などがあり、昔の面影を止めています。

歴史的に見て貴重なこの峠はぜひ後世に残したいものです。



▲峠道 駒石から少し下れば眉山が見える。山の向うは武雄に近い。

ありがとう あなたの善意

心あたたまる町の話

～その38～

愛の手を12年

善意のカンパを続ける地区同盟・青年婦人部

東南アジア難民の人たちに援助を、恵まれない人たちに愛の手をと善意のカンパを12年間続けておられる仲間たちがいます。

この仲間たちは伊万里地区同盟青年、婦人部（青婦協議会、会長光武誠さん）の方たちです。

12年前、若い仲間たち青婦協の行事として何か人のため、社会のためになることをやろうと始めたものです。

食糧がなく飢え、医療機関が不十分なため亡くなっている難民の人たちに「愛のミルクカンパ」、交通遺児や恵まれない人々たちへのカンパを続けておられます。カンパは、毎年12月市街地の5か所で行っています。道行く人々にいまカンパしてきた

のに、自分たちがカンパをもらいたいと云われたりすることもあります。遠くからお金を用意してご苦労さんと云われるときは冬の街頭も暖かく感じます……とのことでした。



▲愛のカンパをうったえる仲間たち

あの人この人 No.9

石河光正さん(52歳) 大坪町柳井町

九州電力伊万里営業所の石河光正配電課長さん(52歳)は、NHKのど自慢のアコーディオン伴奏を35年間続けておられます。

石河さんがアコーディオンを始められたのはまだ10代の頃に昭和20年頃のタンゴ全盛時代に佐賀のアマチュアバンドの草分けともいえる「サロンアンサンブル」というタンゴバンドを結成され、全く独学で習得されました。

当時NHKラジオの生放送でのど自慢の伴奏を頼まれて以来今日まで県内である時は欠かさず出場されていますが、最初的时候は楽譜をみるだけで、何がなんだかわからなかったとか。また30年代は、あの宮田輝さんの名司会に……と数々の思い出もつきません。

伴奏のコツは、歌に合わせてひくことだそうです。長い経験で、最初の一曲で合格かどうかわかるそうです。

最近では、休日に老人ホームや福祉施設を慰問したりボランティアにも力を入れておられますが、この石河さんの活躍におしめない合格の鐘を送りたいものです。



▲戦場の仲間にレッスンをする石河さん(右端)

▼暮らしに生かそう生活展(2/20~22)

知恵と工夫で暮らしを楽しくと生活展が開かれ、市民からの作品も併わせて 120展の出品がありました。



▲人も健康、町も健康をめざして(2/13~14)

第2回市民健康展で元オリンピック選手君原健二さんと一緒に走る子どもたち。

▼第12回スポーツ少年団剣道大会(2/11)

春一番のすどい気合いの中、元気な剣道少年たちの躍動が見られました。



▼活発に農業放談会(2/12)

指導農業者と若手の農業経営者が、市長を囲んで活発な意見の交換を行いました。



いま伊万里で



ヒナまつり

▼社会同和教育推進大会開催(2/7)

同和教育の今日的課題についての講演もあり、多くの市民の共感を集めました。



▼大久保に鉾害復旧記念碑(1/30)

山代炭鉾の鉾害を受けた東山代町大久保の農地の復旧がなされ、記念碑が建てられました。



参加しよう 家族で楽しく体力づくり

スポーツを愛し、雨にも風にも負けず、暑さにも寒さにも耐え、社会悪にもうち勝とう。

市教育委員会では第6回市民体力づくり大会を開きます。

家族みんなで参加しよう。

◆とき・ところ

3月14日(日) 集合受付9時
国見台陸上競技場

◆おこなうもの

○オリエンテーリング
国見台周辺、腰岳山麓

- ハイキング 国見台～腰岳
- ゲートボール 国見台競技場
- ジョギング 国見台周辺
- 民 踊 国見台体育館

◆参加申込 3月6日まで
市教育委員会体育保健課
(電話③ 2111 内線 464)



労住団地分譲住宅 入居者募集中

県労働者住宅生協は長浜団地の分譲住宅入居者を次のとおり募集します。

- ▲募集戸数 10戸
- ▲家屋 木造2階1戸建90.105㎡
- ▲予定価格 1,455～1,686万円
(640万円の公庫融資付き)
- ▲申込期間 3月8日～13日
- ※詳しくは労働金庫伊万里支店
(電話② 6111)へ

特設人権相談

人権、相続、不動産などの問題について人権擁護委員と法務局職員が相談に応じます。

<松浦会場>

- ▲日時 3月9日
- ▲場所 松浦公民館
- ▲担当 原口トミ氏

<伊万里会場>

- ▲日時 3月16日
- ▲場所 市役所市民相談室
- ▲担当 高添門司氏

婦人学級生を募集

申し込みは中央公民館へ

市中央公民館は昭和57年度の婦人学級生を募集します。

- ▲内容 ・洋裁(初心者)
・一般教養学習
- ▲日程 毎週1回月曜か火曜
9時30分～15時
- ▲資格 市内の一般家庭婦人
- ▲定員 70名(先着順)
- ▲申込日時 3月17日(水曜)
8時30～12時

ご希望の方は印鑑持参のうえ市中央公民館へお申し込みください。(電話② 7105)

昨年の国際障害者年を契機に障害者に対する不快用語(差別的用語)を法律や条例から追放する動きが全国的に進んでいます。

私たちは日常生活の中で家族や近所の人と交わす言葉の中に人の心を痛めるような行いや言葉使いをしてはいないでしょうか。

よく同和教育で「人の心を傷つけるような言葉は慎みましょう」といいますが、このことは同和問題に限

「もの言わぬ差別」が「もの言う差別」よりも、時としてその根が深い差別につながるのではないのでしょうか。やはり、もの言わないではますます差別意識として、心の奥底に沈んでしまうことになり、差別を差別として正しくとらえ、これを許さない態度は身につかないのではないかと思います。

終りに今年度の社会同和教育巡回講座をふりかえって、心にとどめ反

同和教育シリーズNo.21

やさしさを言葉に (なくそう差別的用語と言葉)

らず不用意な言葉は一人ひとりが使わない努力をしなければならないということです。

また一方「こんな言葉や言い方をしてはいけない」と言えば、なるだけこれを避けようとする「もの言わぬ差別」になりかねません。大切なことは、同和問題をタブー視することなく、お互いの心を開いて語り合うことがこの問題に取り組む姿勢とならなければなりません。

省きたい言葉をのべて参考にしたいと思います。

- ◎一つの差別は、すべての差別につながる。
- ◎百の同情より一つの理解から。
- ◎知識よりも認識することの大切さ。
- ◎自分の身が大切なように人の身も大切にす思いやり。
- ◎やさしさを添えて本音を語り合う話し合いこそ学習に意義がある。

(社会教育課)

万一に備え 火災共済に

労済の「火災共済」は、厚生大臣の認可を受けた非営利の火災共済です。

はたらく人たちが自主的に助け合いを目的とした保障制度で、勤めている人ならどなたでも加入できます。

▲掛金と保障額 年間 900 円の払い込みで 100 万円保障

▲最高限度額 2,000 万円まで (家財だけの場合は 700 万円まで)

※詳しいことは、労働者福祉協議会伊万里支部 (労働金庫内)

☎②-6111へおたずねください。



3月7日~13日は 建築物防災指導週間です

◎火災・ガス爆発など建物災害の防止に努めましょう。

次のかたからご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。
社会福祉事業費へ

- ◆香典返しを寄付
 - ・永島伊八郎(亡母笹葉) 山代町鳴石
 - ・松田喜八(亡父竹田龜八) 黒川町黒塩
 - ・堀田敏昭(亡父芳勝) 大川町長野
 - ・大久保幸文(亡母ユキエ) 大川内町平尾
 - ・小田正則(亡父忠三) 波多津町板木
 - ・山口誠市(亡祖母菊野) 松浦町梅岩
 - ・宮崎博保(亡父繁徳) 大川内町大川内山
 - ・浦川 勇(亡母サヤ) 二里町内の馬場
 - ・畑山ミツヨ(亡夫永作) 波多津町辻
 - ・井本 弘(亡祖母ヤス) 波多津町馬蛤湯
 - ・古賀徳男(亡母ハマ) 相生町
 - ・榎本敬一郎(亡養母マツ) 黒川町奥野
 - ・池田賢市(亡養母トヨ) 黒川町塩屋
 - ・福田幸次郎(亡母ユリ) 大坪町柳井町
 - ・原口勝彦(亡父茂) 大川町戸石川
 - ・西田和俊(亡父常三) 木須町木須東
 - ・佐々木勝(亡父丈四郎) 脇田町脇田
 - ・長野タエ子(亡母山下イシ) 大川町片竹
 - ・山口末子(亡夫勝一) 立花町西四
 - ・北原秀利(亡父盛次) 木須町木須東
 - ・川久保ツキヨ(亡夫龍二) 山代町楠久津
 - ・多久島英明(亡父勇) 東山代町長浜

ありがとう



ごさいました

- ・井手東太郎(亡母ユキエ) 波多津町内野
- ・吉崎英子(亡夫稔) 東山代町里
- ・福野キヌエ(亡夫重利) 東山代町日尾
- ・黒髪治三(亡妻セキ) 大川内町福野
- ・坂井ハツ子(亡夫茂雄) 二里町内の馬場
- ・池田昌弘(亡母和世) 二里町作井手
- ・中倉千代子(亡夫太郎次) 東山代町長浜
- ・岩崎淑子(亡母平松藤代) 堀町
- ・力武マサヨ(亡夫与辻) 大坪町六仙寺
- ・多久島茂(亡妻ミヨ子) 東山代町長浜
- ・岩本豊次(亡妻チカ子) 大坪町祇園町
- ・川久保達雄(亡父定造) 山代町野々頭
- ・西山佐一(亡母クマ) 山代町久原一區
- ・堀川正夫(亡父新助) 波多津町内野
- ・大塚繁美(亡母ハルエ) 瀬戸町漁港
- ・古賀徳男(亡母ハマ) 相生町
- ・井手東太郎(亡母ユキエ) 波多津町内野
- ・中倉千代子(亡夫太郎次) 東山代町日尾
- ・土井峯次(亡妻幸子) 東山代町日尾
- ・梶山政枝(亡夫一男) 朝日町伊万里小へ
- ・草場隆志(亡父安五郎) 南波多町谷口
- ・波多川小指定
- ・山口清隆(亡母フクヨ) 南波多町古里
- ・波多川小指定
- ・福田嘉太(亡父吉人) 山代町久原
- ・山代東小指定
- ◆体育振興奨励基金へ
 - ・梶山政枝(亡夫一男) 朝日町
- ◆篤志寄付
 - ・一万円 中島紘一 (新天町)
 - ・明るいまちづくり推進資金へ
 - 【大坪公民館】
 - ・岩本豊次(亡妻チカ子) 大坪町祇園町
 - ・力武マサヨ(亡夫与辻) 大坪町六仙寺
 - ・吉原羊一郎(亡母イキ) 大坪町柳井町
 - ・古川正道(亡父正信) 大坪町六仙寺
 - 【二里公民館】
 - ・前川徳夫(亡父澤治) 二里町大里
 - ・池田 榮(亡母ツキ) 二里町川東
 - 【松浦公民館】
 - ・江口春政(亡母エキ) 松浦町上分
 - 【大川公民館】
 - ・堀田敏昭(亡父芳勝) 大川町長野
 - ・吉原文江(亡夫季博) 大川町立川
 - ・平山勝太(亡妻ヨシノ) 大川町川西
 - 【東山代公民館】
 - ・福嶋久子(亡長男義信) 東山代町福和
 - ・吉崎英子(亡夫稔) 東山代町里
 - ・中倉千代子(亡夫太郎次) 東山代町長浜
 - 【山代公民館】
 - ・西山佐一(亡妻ミツエ) 山代町久原一區
 - ◆波多津町老人憩の家建設資金
 - ・松本 進(亡母ヨ子) 波多津町浦
 - ・奈良崎保(亡養母トミ) 波多津町筒井

※2月号の滝野小への寄付の岡部茂夫氏は申し出により川原猶視氏に訂正します。

こ ども の ペ ー ジ

福田さん (山代中 3年) ・ 前田君 (山代中 2年)

絵画コンクールでそれぞれ特選

昨年12月に行われた第30回全国児童生徒作品コンクールで山代中学3年の福田裕子さん(15歳)が、図画の部で特選になり、このたび日本児童教育振興財団から賞状と記念品が贈られました。

福田さんの作品は、夏休みの自由課題に水彩で、自宅の勉強部屋から見える屋根瓦の風景を描いたもので「まさか特選になるなんて」と本人もビックリ。このコンクールには、全国で

9,000点が集まり、その中から選ばれたもので、指導にあたる栗原崇先生も絵のセンスの良さをほめていました。

また昨年の7月に行われた北部九州ジュニア童画展では、同校2年の前田利雄君(13歳)も特選となり、その作品は世界児

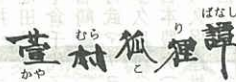
童画展でも入選になるなど、コンクールの受賞づいています。

栗原先生も「うまい絵ではなく、いい絵を書きなさい」と指導され、いい絵は誰にでも書けることを教えておられます。

福田さんも前田君も絵が大好き、それぞれ進学と進級を前にこれからも趣味として絵をかいていきたいと話してくれました。



▲栗原先生を真中に右から福田さん、前田君



No. 2

ほっけじむら だぬき
法華寺村の娘っ子狸



大坪町渚 松尾テイさん

おばあちゃん、今日もお話ばきかせてね。「はいはい」やすこちゃんもまさこちゃんも、そこにおすわりしんしゃいね。

昔ね、法華ん谷には狸がよんにゅう(たくさん)おったちゅうもんね。そいが、やあらしか(かわいい)娘っ子にばけ、



里の人達ばシャーシャーえらかす(からかう)てさい。

若者宿でね今夜も話の種になってね「あの娘っ子狸ばつかまえて狸汁ば作ったら、うまかろうごたあう」て話しとらしたぎい「よおし、おいどんがつかまえに行こう」て2.3人つんのう(連れ)て出かけらしたて。

法華谷の近くまで来たいば、娘っ子が立って、暗か晩じあとに着とる着物のがらまではっきり見ゆるけん、こりゃやっぱり狸にちぎやなかって思うて、娘に「こぎゃんとけおるぎい野狐からだまさるっぱい。早う里

に行こうで」と言いながら娘っ子の手ばつかまえらしたて。

「さあお前達あ早うもどってこんことばひっきゃあに(皆に)言うて狸汁の用意ばせろや、おらあこいつば、連れてもどるけん」て言うて、逃げられては大変だと、一生懸命にぎと手手に力ば入れらすもんじゃけん、娘っ子は「若衆さん、あんまい強うつかまんで、手がいたかあ、こっちん手と持ちかえてくんさい」て言うたちゅうもん。

「そぎゃんにゃ、よしよし」て言うて手ば持ちかえて若者宿の外庭まで帰って来たいば、ひょかっと軽うなつたて。

家の中でゆう見らしたいば、大きか大根ば1本持とらしたてき……。

はい、今日はこいでおしまい。